

英国ダラム大学の Bruce Malamud 所長・教授が当研究所を訪問し、講演しました (2026/8/3～6)

テーマ：災害科学、日英大学間連携、国際共同研究

会 場：災害科学国際研究所

URL：<https://www.durham.ac.uk/staff/bruce-malamud/>

2026 年 8 月 3 日から 6 日にかけて、英国・ダラム大学（Durham University）の Bruce Malamud 教授（ハザード・リスク・レジリエンス研究所長）が本学ならびに当研究所を訪問し、8 月 4 日には当研究所会議・セミナー室において、「Understanding Risk and Building Resilience when Data are Scarce」と題して講演しました。本講演は、原裕太助教（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）がコーディネートと司会を担当し、当研究所、本学変動地球共生学（SyDE）国際卓越大学院プログラム、本学災害科学・安全学国際共同大学院プログラム（GP-RSS）が共催しました。

また、Malamud 教授は本学訪問中、内田典子助教（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）、原助教らと日英印 3 カ国で展開する、ブリティッシュ・カウンシル（British Council）の国際科学パートナーシップ基金（ISPF）が支援する「Biodiversity-Water-Energy-Food（BWEF）」国際共同研究プロジェクトについても協議を重ねたほか、当研究所の多くの教員と親睦を深めました。

なお、ダラム大学と本学は、ともに日英大学間連携プログラム「RENKEI」の加盟大学であり、学術交流協定を締結しており連携強化を進めています。



Malamud 教授（右）と原助教



Malamud 教授の講演

文責：原 裕太（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）